

中央市読書調査結果

2017年度

中央市司書会

目 次

1. 調査目的	1
2. 概要	1
3. 対象学年	1
4. 方 法	1
5. 調査場所	1
6. 調査結果	2
7. まとめ	20
8. 調査用紙等	21

1. 調査目的

近年、図書館設備をはじめ読書推進運動の社会的な高まりなどによって、子どもたちを取り巻く読書環境は整えられつつある。しかし一方で、子どもの活字離れや不読者増加など、子どもの読書状況は必ずしも好転しているとは限らない現状も報告されている。

中央市では、生涯にわたって読書に親しむまちづくりをめざして「中央市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちが読書に関わる様々な機会を提供している。そのような取組の効果を検討し、課題を明確にして、子どもたちの読書環境の充実や読書意欲の向上にむけて読書活動を推進していく資料とするため、中央市司書会では本市の小中学校に通う児童および生徒の読書調査を実施することとした。

この調査は、中央市立図書館と学校図書館とが共同で行うように位置づけ、中央市司書会の研究成果として、「中央市子ども読書活動推進計画（第二次）」の評価判断の一つとする。

2. 概要

子どもたちが読書をすることは、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号）および国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第一次）」（平成14年8月閣議決定）、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第二次）」（平成20年3月閣議決定）、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第三次）」（平成25年5月閣議決定）、に述べられているとおり、生きる力を身につけていくために不可欠なものである。

それを受けて本市では、毎日新聞社と全国学校図書館協議会が共同で毎年行っている「学校読書調査」を参考にして前身調査「中央市読書調査」（平成20年～平成24年）を行った。5年度にわたり実施してきた成果として、いくつかの課題が明らかとなり、その中で小学4年生から読書離れが進む傾向がつかめた。そこで平成25年度に質問項目を再検討し、平成26年度より「読書に関連する活動」に重点をおいての調査を開始し、今年度は4年目の実施となる。

3. 対象学年 市内小中学校に通う小学4年生および6年生、中学2年生

- ## 4. 方 法
- ①実施期間 : 6月1日（木）から6月13日（火）まで
 - ②集 計 : クラスおよび学年の集計は各学校が行い、市内全体の集計は市立図書館が行う。
 - ③分析・考察 : 中央市司書会が行う。

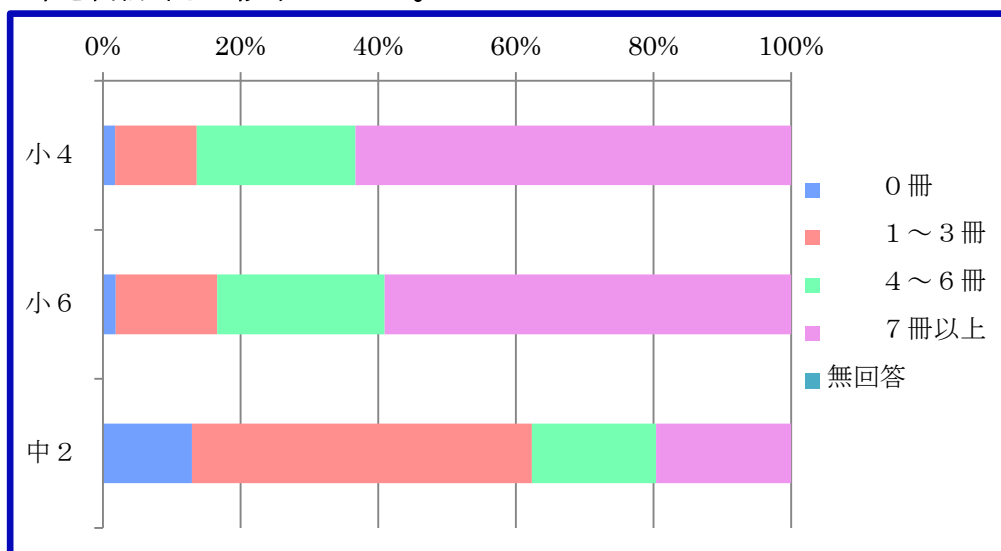
5. 調査場所 中央市内小中学校 各教室

6. 調査結果

《グラフについて》

*回答者は、小学4年生・286名、小学6年生・271名、中学2年生・255名を対象としています。

問1 5月1ヶ月の読書冊数
本を何冊ぐらい読みましたか。



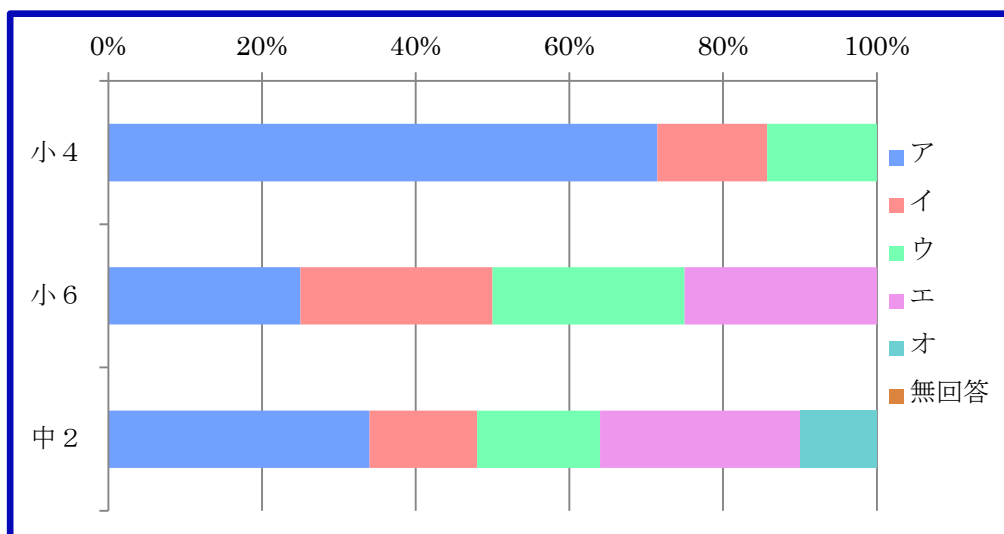
問1	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
0冊	5	1.7%	5	1.8%	33	12.9%
1～3冊	34	11.9%	40	14.8%	126	49.4%
4～6冊	66	23.1%	66	24.4%	46	18.0%
7冊以上	181	63.3%	160	59.0%	50	19.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

■考察

- ・小学生は、「7冊以上」読んだと回答している割合が最も多く半数以上を占め、「0冊」と回答しているは少数である。小4・小6の両学年ともに、読んだ冊数の割合はほとんど同じである。
- ・中学生は、「7冊以上」読んだと回答している割合が小学生の3割程度しかないが、「1冊以上」読んだと回答している割合が8割以上を占めている。
- 毎年学年が上がるに従い読書量が減る傾向にあったが、今年は小4・小6の割合がほぼ同じで大きな差は見られない。また「0冊」と回答している割合も少ないが、これは、小学校での朝の読書や図書の時間など、本を読む環境が整えられてきたことがひとつの要因になっていると考えられる。今後も朝の読書や図書の時間などの確保をしていくことが重要である。
- 中学校でも、朝の読書や公共図書館と連携しての取り組みなど指導の成果がでてきている様子がうかがえる。今後も読書に興味向けられるような取り組みなどを継続していくことが大切だと考えられる。

問2 読まなかった理由（複数回答）

質問「1」で「0冊」と答えた人に質問します。



- ア 習い事や塾、スポ少(中2は部活)があるから
- イ テレビを見たりゲームをしたりするから
- ウ パソコンやスマホでインターネット等をするから
- エ 本を読むのが面倒に感じるから
- オ その他
- 無回答

	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	5	71.4%	1	25.0%	17	34.0%
イ	1	14.3%	1	25.0%	7	14.0%
ウ	1	14.3%	1	25.0%	8	16.0%
エ	0	0.0%	1	25.0%	13	26.0%
オ	0	0.0%	0	0.0%	5	10.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

<その他の回答>

【中学2年生】

・家で読んでいるから・だるいから・無記入 (3人)

■考察

- ・小学生・中学生ともに読まなかった理由は様々であるが、「習い事や塾、スポ少・部活があるから」と回答している割合が多い。中学生では「本を読むのが面倒に感じるから」という生徒が約2割を占めている。
- 学校図書館と公共図書館が連携して、読書の楽しみが感じられ、興味が高められるような指導を行っていく必要がある。
- 学校図書館、公共図書館だけでなく、家庭や地域とも連携の輪を広げ、日常的に本を手に取り読書していけるような読書環境づくりや、読書習慣を養っていくことが今後の課題である。

問3【小学4年生】

〈好きな本・好きなシリーズ〉

	分類9	分類0～8	
好きな本	<p>犬と私の10の約束 (2人) たんぼぼ(2人) ひまわりのおか(2人) 名探偵コナンから紅の恋歌(ラブレター) (2人) ゆうれいねこふくこさん アルセーヌ・ルパン おさわがせブンガくん ジャッキーの運動会 名探偵コナン漆黒のチェイサー てんやわんやの名探偵 あしたからは名探偵 学校の怪談 12 か月 ちいさなあめふりぐも アッチとボンとなぞなぞコック 電車で行こう! 北斗星に願いを 長くつしたのピッピー ワンピース フィルム ストロング ワールド ならくんとかまくらくん 体育館であそぶ霊 ミッキー・ドナルド・グーフィーの三銃士 トム・ゲイツトホホなまいにち からすのパンやさん おこだでませんように おさるのまいにち</p>	<p>海底2万マイル 小公女セーラ 星の王子さま 若草物語 はんぴらり さくら 秘密のスイーツ 宿題さかあがり いもむしれっしゃ 君の名は カンフー・パンダ 白い本 白いサメ 白いぼうし せかいいちのねこ なぞなぞねずみくん ヒッコスでひっこす やさしいあくま らくごで笑児科 きまぐれロボット パンダコパンダ 耳をすませば おおきな木</p>	<p>日本の恐竜(2人) ルイ・ブライユ みんなの心霊新聞 100グラムのいのち 古生物大百科 すみっこぐらし 給食のひみつ 熟語大辞典 ポケモンといっしょにおぼえよう 円谷英二 ウルトラマンをつくった映画監督 あぶない! 恐竜パラサウロロフス からかい上手の高木さん アトム人物ポケット図鑑 エコ*文房具—お菓子のパッケージで作ろう! エコなグッズ—</p> <p>【書名が不確実】 歴史の本(2人) トミカ・プラレール 昆虫しりとり さむらい デザートづくりの本 料理うまくなる 折り紙の本 クイズの図鑑</p>
好きなシリーズ	<p>かいけつゾロリ(17人) 一期一会(10人) 小説名探偵コナン(9人) マジックツリーハウス(8人) ミルキー杉山(8人) 10歳までに読みたい世界名作(7人) 絶叫学級(6人) 徳間アニメ絵本(6人) イチゴの村のお話たち(5人) 小説ワンピース(5人) おぼけのアッチ(4人) 黒魔女さんが通る!! (4人) ルルとララ(4人) 笑い猫の5分間怪談(4人) 動物と話せる少女リリアーネ(3人) 12歳(3人) グレッグのダメ日記(3人) ダイナソー・パニック(3人) 絶望おにごっこ(3人) おしりたんてい(3人) ほねほねザウルス (3人) くまのがっこう(2人) おぼけずかん(2人) ぼくらのミステリータウン(2人) ビーストクエスト(2人) 摩訶不思議ネコムスピ(2人) マーメイド・ガールズ(2人) 怪談レストラン(2人) おぼけやさん(2人) トリプル・ゼロの算数事件簿 モナミ(は～を終わらせる) 妖怪アパートの幽雅な日常 読書がたのしくなるニッポンの文学</p>	<p>ルドルフとイッパイアッテナ ハリー・ポッター 五年霊組 ぼくら バムとケロ リトル・プリンセス 1% ナルニア国物語 ヒックとドラゴン あらしのよるに パセリ伝説 本の怪談 魔天使マテリアル 怪盗レッド なんでも魔女商会 5分後に意外な結末 こまったさん 平成うさぎの怪談 角川アニメ絵本 ぼくは王さま ころわん タンタンの冒険 キャベたまたんてい 少女探偵ナンシー 代表監督は11歳!! パペット探偵団 レインボーマジック 忍剣花百姫伝 忍者サノスケじいさん 山田県立山田小学校 フットボールアカデミー ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 ナツカのおぼけ事件簿</p>	<p>サバイバル(20人) 学研まんがひみつ(6人) ドラえもん科学ワールド (4人) 新花子さんがきた!! (3人) 花子さんがきた!! (2人) ドラえもん社会ワールド (2人) 恐竜物語(2人) 都市伝説(2人) うちの三姉妹 空想科学読本 ジュニア空想科学読本 学校では教えてくれない大切なこと 三国志 ピーナッツ エッセンス ハムスターの研究レポート ミック</p> <p>【シリーズ名が不確定】 動物の本 いぬの本 アニメの絵本</p>

なし(1人)

【小学6年生】

〈好きな本・好きなシリーズ〉

	分類9	分類0～8	
好きな本	犬と私の10の約束 (2人) たんぽぽ(2人) ひまわりのおか(2人) 名探偵コナンから紅の恋歌(ラブレター) (2人) ゆうれいねこふくごさん アルセーヌ・ルパン おさわがせフンガくん ジャッキーの運動会 名探偵コナン 漆黒のチェイサー てんやわんやの名探偵 あしたからは名探偵 学校の怪談 12 か月 ちいさなあめふりぐも アッチとボンとなぞなぞコック 電車で行こう！北斗星に願いを 長くつしたのピッピ ワンピース フィルム ストロング ワールド ならくんとかまくらくん 体育館であそぶ霊 ミッキー・ドナルド・グーフィーの三銃士 トム・ゲイツトホホなまいにち からすのパンやさん おこだでませんように おさるのまいにち	海底2万マイル 小公女セーラ 星の王子さま 若草物語 はんぴらり さくら 秘密のスイーツ 宿題さかあがり いもむしれっしゃ 君の名は カンフー・パンダ 白い本 白いサメ 白いぼうし せかいいちのねこ なぞなぞねずみくん ヒッコスでひっこす やさしいあくま らくごで笑児科 きまぐれロボット パンダコパンダ 耳をすませば おおきな木	日本の恐竜(2人) ルイ・ブライユ みんなの心霊新聞 100グラムのいのち 古生物大百科 すみっこぐらし 給食のひみつ 熟語大辞典 ポケモンといっしょにおぼえよう 円谷英二 ウルトラマンをつくった映画監督 あぶない！恐竜パラサウロロフス からかい上手の高木さん アトム人物ポケット図鑑 エコ*文房具—お菓子のパッケージで作ろう！エコなグッズ— 【書名が不確実】 歴史の本(2人) トミカ・プラレール 昆虫しりとり さむらい デザートのつくり方の本 料理うまくなる 折り紙の本 クイズの図鑑

好きなシリーズ

かいけつゾロリ(17人)
一期一会(10人)
小説名探偵コナン(9人)
マジックツリーハウス(8人)
ミルキー杉山(8人)
10歳までに読みたい世界名作(7人)
絶叫学級(6人)
徳間アニメ絵本(6人)
イチゴの村のお話たち(5人)
小説ワンピース(5人)
おぼけのアッチ(4人)
黒魔女さんが通る!!(4人)
ルルとララ(4人)
笑い猫の5分間怪談(4人)
動物と話せる少女リリアーネ(3人)
12歳(3人)
グレッグのダメ日記(3人)
ダイナソー・パニック(3人)
絶望おにごっこ(3人)
おしりたんてい(3人)
ほねほねザウルス(3人)
くまのがっこう(2人)
おぼけずかん(2人)
ぼくらのミステリータウン(2人)
ビーストクエスト(2人)
摩訶不思議ネコ・ムスピ(2人)
マーメイド・ガールズ(2人)
怪談レストラン(2人)
おぼけやさん(2人)
トリプル・ゼロの算数事件簿
モナミ(は~を終わらせる)
妖怪アパートの幽雅な日常
読書がたのしくなるニッポンの文学

ルドルフとイッパイアッテナ
ハリー・ポッター
五年霊組
ぼくら
バムとケロ
リトル・プリンセス
1%
ナルニア国物語
ヒックとドラゴン
あらしのよるに
パセリ伝説
本の怪談
魔天使マテリアル
怪盗レッド
なんでも魔女商会
5分後に意外な結末
こまったさん
平成うわさの怪談
角川アニメ絵本
ぼくは王さま
ころわん
タンタンの冒険
キャベたまたんてい
少女探偵ナンシー
代表監督は11歳!!
パペット探偵団
レインボーマジック
忍剣花百姫伝
忍者サノスケじいさん
山田県立山田小学校
フットボールアカデミー
ふしぎ駄菓子屋 銭天堂
ナツカのおぼけ事件簿

サバイバル(20人)
学研まんがひみつ(6人)
ドラえもん科学ワールド(4人)
新花子さんがきた!!(3人)
花子さんがきた!!(2人)
ドラえもん社会ワールド(2人)
恐竜物語(2人)
都市伝説(2人)
うちの三姉妹
空想科学読本
ジュニア空想科学読本
学校では教えてくれない大切なこと
三国志
ピーナッツ エッセンス
ハムスターの研究レポート
ミッケ

【シリーズ名が不確定】

動物の本
いぬの本
アニメの絵本

未回答 1人

【中学2年生】

〈好きな作家〉

好きな作家	西尾維新(11人)	赤川次郎	中村 航
	山田悠介(8人)	芥川龍之介	夏川草介
	川原礫(7人)	あさのあつこ	西村京太郎
	住野よる(7人)	あんびるやすこ	初野晴
	七月隆文(5人)	池井戸潤	ハロルド作石
	東野圭吾(5人)	上橋菜穂子	百田尚樹
	湊かなえ(5人)	江国香織	藤本ひとみ
	はやみねかおる(4人)	小野不由美	星野源
	青山剛昌(3人)	恩田陸	又吉直樹
	暁なつめ(3人)	鏡リュウジ	まどみちお
	有川浩(3人)	加藤シゲアキ	美嘉
	鎌田洋(3人)	金子みすず	三上 延
	草野たき(3人)	神永学	緑川聖司
	夏目漱石(3人)	香山美子	南通子
	宮部みゆき(3人)	川口 晴	森絵都
	柳田理科雄(3人)	川村元氣	山崎豊子
	伊坂幸太郎(2人)	榎木理宇	山田詠美
	井上ひさし(2人)	咲坂伊織	吉本ばなな
	江戸川乱歩(2人)	佐藤多佳子	若松和記
	さくらももこ(2人)	佐野徹夜	和田竜
	重松清(2人)	涼風涼	
	新海誠(2人)	住滝良	
	たかぎなおこ(2人)	宗田理	J・K・ローリングス(2人)
	谷川俊太郎(2人)	空知英秋	ダレン・シャン (2人)
	辻村深月(2人)	太宰治	アンネ・フランク
	鳥山明(2人)	竹内均	シェイクスピア
	伏見つかさ(2人)	辻秀一	タニヤ・シュテーブナー
宮沢賢治(2人)	手塚治虫		
山口幸三郎(2人)	富樫善博		

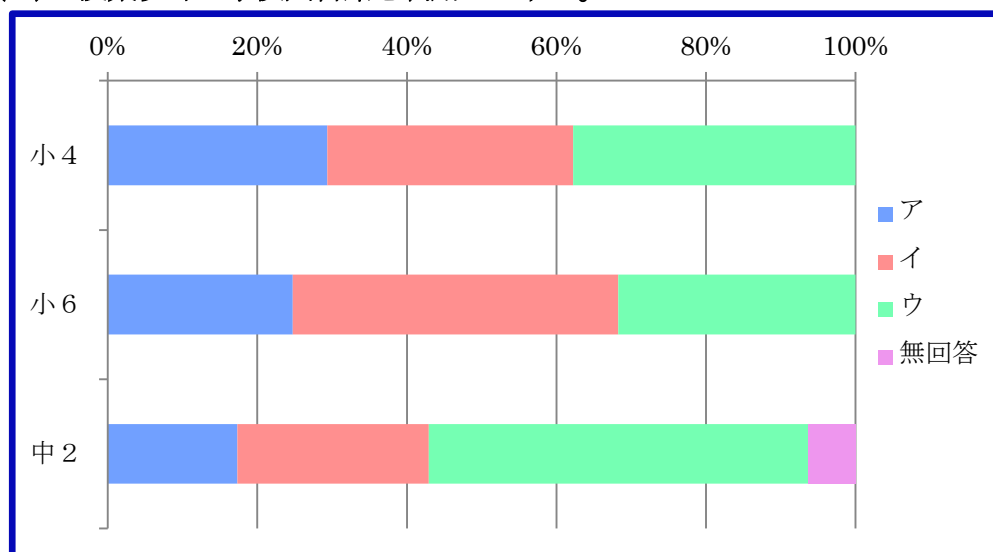
〈好きな本・好きなシリーズ〉

	分類9	分類0～8	
好きな本	<p>君の臍臓を食べたい(9人) 謎解きはディナーのあとで(5人) 植物図鑑(3人) また同じ夢を見ていた(3人) キッチン(2人) リバーズ(2人) 真天使マテリアル(2人) 魔女の家(2人) 世界から猫が消えたなら(2人) 天使は奇跡を希う(2人) 学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話(2人) ぼくらの最終戦争(2人) 一瞬の風になれ(2人) 永遠の0(2人) パズル(2人) 99のありがとう(2人) ぼくらの7日間戦争(2人) 青空エール(2人) 君の名は。(2人) 黒執事(2人) 悪の大罪(2人) 光(teddybear第2弾)(2人) Reゼロから始める異世界生活 かお(LA ZOO・学研プラス) カノジョは嘘を愛し続ける クレヨンしんちゃんの秘密 モリー先生との火曜日 世界で一番貧しい大統領から君へ 僕は明日、昨日の君とデートする 進撃の巨人 Before the fall ひとつの。真夏に読みたい五つの話</p>	<p>飛ぶ教室 星の王子さま 西の魔女が死んだ 獣の奏者 左手一本のシュート 火花 カラフル くちびるに歌を 人間失格 犬と私の10の約束 不思議を売る男 帰ってきた名探偵 テニスの王子様 終わりのセラフ 恋空 関ヶ原大戦 ラプラスの魔女 名のないシシャ レイン ヒロイン失格 君に届け トリガール バケモノの子 サヨナラ自転車 アオハライド ヤキモチの答え Aコース 三日間の幸福 ×ゲーム 雲のはしご モップガール ケーキ王子の名推理</p>	<p>ディズニー そうじの神様が教えてくれたこと プロ野球なんでもナンバー1 あひるの空 頭文字D 心理トリック フランス人は10着しか服を持たない 悩む力 「進撃の巨人」と解剖学</p>

好きなシリーズ	<p>ソードアート・オンライン(8人) 5分後に意外な結末(7人) カゲロウデイズ(7人) グレッグのダメ日記(5人) ぼくらの7日間戦争(4人) ディズニーアニメ小説版(4人) メディアワークス(4人) コナン(小学館ジュニア文庫)(3人) 一期一会(3人) 図書館戦争(3人) ハリー・ポッター文庫(2人) バカとテストと召喚獣(2人) ノーゲーム・ノーライフ(2人) ハニーワークス(2人) 都会のトム&ソーヤ(2人) キミノ名ヲ。(2人) 動物と話せる少女リリアーネ ハイキュー!!ショースツパン!! 妖怪アパートの幽雅な日常 マジックツリー・ハウス こちらパーティ編集部!! 進撃の巨人</p>	<p>三毛猫ホームズ 掟上今日子 かいけつゾロリ タラ・ダンカン 探偵チームKZ サッカーボーイズ 明日への絆 怪盗レッド ちはやふる ハルチカ アンティーク FUGA ぶたのたね ぐりとぐら キノの旅 MAJOR 物語 (西尾維新/著) アクロイド殺人事件 ノーゲーム・ノーライフ ダレンシャン 黒子のバスケ ハリー・ポッター</p>	<p>空想科学読本(8人) どうぶつの本(今泉忠明/監修)(2人) ハムスターの研究レポート(2人) 光とともに(2人) ONE PIECE(ジャンプ・コミックス)(2人) ドラえもん 読むだけですっきりわかる 対訳サザエさん 世界の伝記</p>
---------	---	--	---

問4 読書に関連する行動

(1) 授業以外で学校図書館を利用しますか。



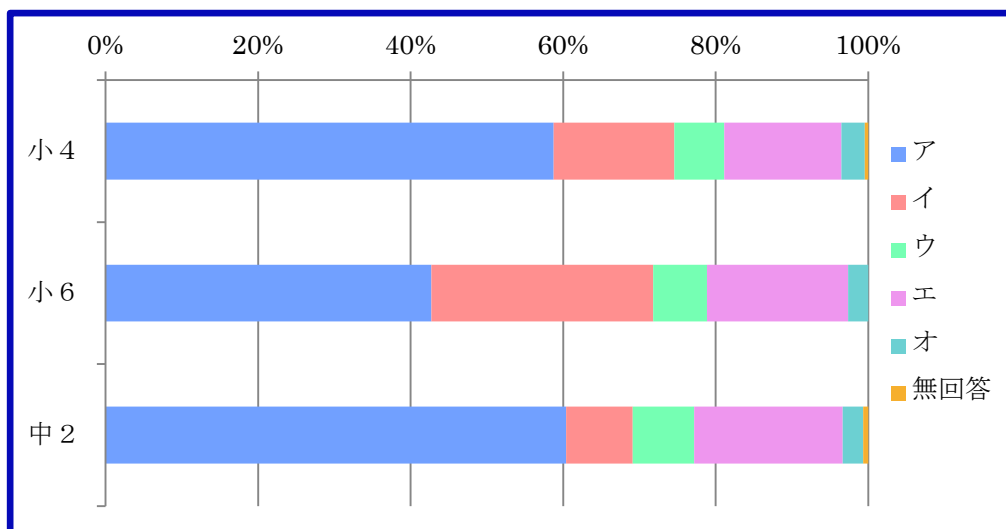
- ア よく利用する
- イ ときどき利用する
- ウ ほとんど利用しない
- 無回答

問4(1)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	84	29.4%	48	24.7%	44	17.3%
イ	94	32.9%	103	43.5%	65	25.6%
ウ	108	37.8%	106	31.7%	129	50.8%
無回答	0	0.0%	0	0%	16	6.3%

■考察

- ・学年が上がるにつれて「よく利用する」と「ときどき利用する」を合わせた割合は、減っている。
- ・「ほとんど利用しない」と回答している割合は、小4は約4割、小6は約3割、中学生は5割を占めている。
- 授業中だけでなく、休み時間、放課後にも学校図書館に行きたくなるような魅力的な取り組みも企画する必要がある。
- 学校図書館は、読書活動だけでなく、あらゆる学校教育活動の中核となる事を期待されており、児童・生徒にとって、もっと身近な存在でなければならないと考えている。そのためには、児童・生徒のニーズに適応した蔵書構成を視野に入れ、図書の選書、購入を心がけるとともに、図書館の有用性をもっと積極的にアピールする必要がある。

(2) 学校図書館を利用する目的は何ですか。(複数回答)
 質問「4 (1)」で「ア・イ」と答えた人に質問します。



- ア 本を読んだり、借りたりするため
- イ 調べものをするため
- ウ 勉強したり、教え合ったりするため
- エ 友だちと情報交換(中2は会話も含む)をしたり、気分転換をしたりするため
- オ その他
- 無回答

問4(2)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	134	58.8%	97	42.7%	90	60.4%
イ	36	15.8%	66	29.1%	13	8.7%
ウ	15	6.6%	16	7.0%	12	8.1%
エ	35	15.4%	42	18.5%	29	19.5%
オ	7	3.1%	6	2.6%	4	2.7%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	1	0.7%

＜その他の回答＞

【小学4年生】

- ・本を読むのが好きのため (2人)・楽しむため (2人)・お菓子作りの調べで利用
- ・雨の日だったから利用・妹のために利用

【小学6年生】

- ・時間がつぶせるから (2人)・図書委員だから・ひまなとき本を読みたいから
- ・本が好きだから・友達が図書委員だから・なんとなく

【中学2年生】

- ・そうじ・本を読むのが好きだから・先生と話すため・無記入

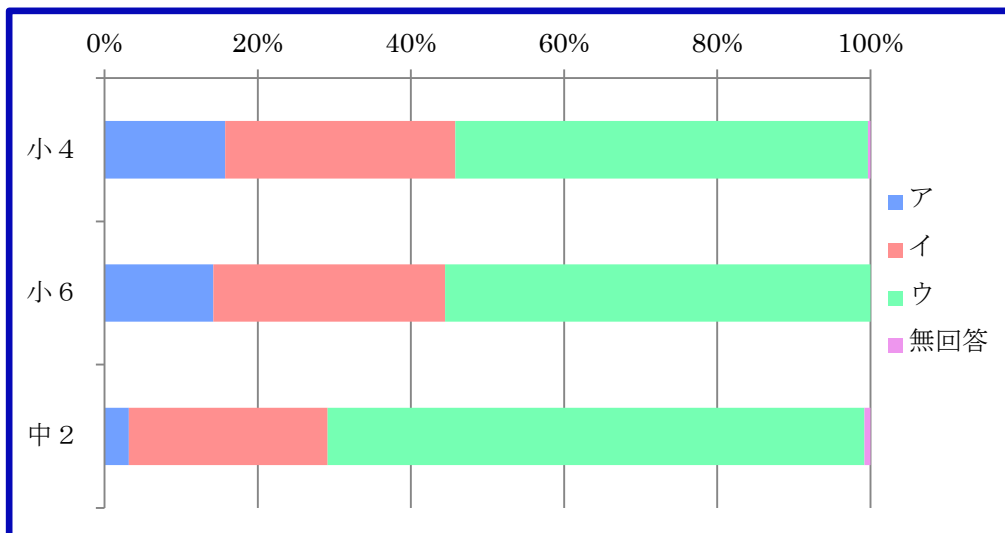
■考察

- ・全学年を通して、「本を読んだり、借りたりするため」と「調べものをするため」の回答をしている割合が多く7割を占めているが、「調べものをするため」だけで見ると、中学生は小学生より割合が減っている。
- ・「友だちと情報交換をしたり、気分転換をしたりするため」と回答している割合は、学年が上がるにしたがって増えている。
- ・「勉強したり教えあったりするため」と回答している割合は、全学年を通して少ない。

○図書資料の使用を目的とする児童・生徒が大変多く、改めて図書資料の充実を図ることの重要性を感じる。

- 学年が上がるに従いコミュニケーションの場として利用する児童・生徒が多くなっていることから、親しみやすい図書館環境を整備していく必要がある。
- 中学生は「調べものをするため」と回答する割合が少ないが、中学校では行事が多く図書館に直接来て調べるという時間を取れないのが現状である。そのため調べ学習に必要な資料を図書館から借りて教室での調べ学習の取り組みをするスタイルが多い傾向にある。

(3) 学校の見学以外で公共図書館を利用しますか。



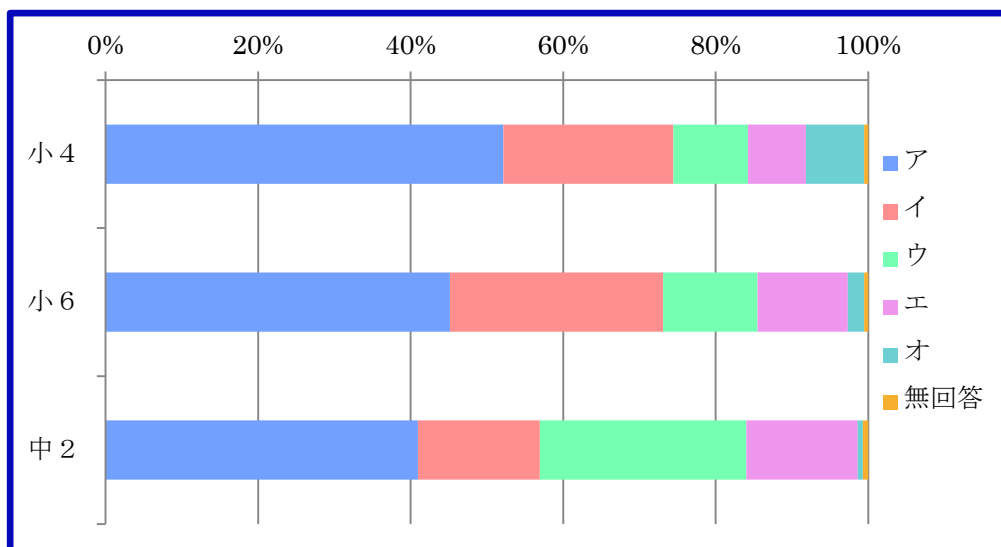
- ア よく利用する
- イ ときどき利用する
- ウ ほとんど利用しない
- 無回答

問4(3)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	45	15.7%	37	14.2%	8	3.1%
イ	86	30.1%	79	30.3%	66	26.0%
ウ	154	53.8%	145	55.6%	178	70.1%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	2	0.8%

■考察

- ・「よく利用する」と回答している割合が、学年が上がるにつれて減っている。
- ・「ときどき利用する」と回答している割合が、全学年を通して3割前後である。
- ・「ほとんど利用しない」と回答している割合が小学生で5割、中学生ではさらに多い7割である。学校図書館に比べ利用頻度が低いことがうかがえる。
- 公共図書館はあらゆる情報収集の場であることを考えると、生涯を通じて公共図書館を利用していくことが不可欠である。したがって、小中学校時代に、公共図書館利用の有用性を認識し、もっと利用していくことが望ましいと考える。そのためには、公共図書館自ら、さらに地域や家庭にアピールし、また学校でも公共図書館の利用について継続的に指導していく必要がある。

(4) 公共図書館を利用する目的は何ですか。(複数回答)
質問「4(3)」で「ア・イ」と答えた人に質問します。



問4(4)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア 本を読んだり、借りたりするため	96	52.2%	84	45.2%	59	41.0%
イ 調べものをするため	41	22.3%	52	28.0%	23	16.0%
ウ 勉強したり、教え合ったりするため	18	9.8%	23	12.4%	39	27.1%
エ 友だちと情報交換(中2は会話も含む)をしたり、気分転換をしたりするため	14	7.6%	22	11.8%	21	14.6%
オ その他	14	7.6%	4	2.2%	1	0.7%
無回答	1	0.5%	1	0.5%	1	0.7%

<その他の回答>

【小学4年生】

- ・ビデオを見るため(5人)・学校の図書室にない本を借りるため・好きな本探し・兄弟で読みっこ・自主学習の取り組み・英語の本を読むため
- ・本がたくさんあり、20冊も借りられるから。・本が好きだから・ママと一緒に借りに行くから・お兄ちゃんが行くから、ついでに借りる

【小学6年生】

- ・自分にあった本をさがすため・時々イベントがあるから・面白い本があるから
- ・家族読書のため・ひまつぶし・理由は特にない

【中学2年生】

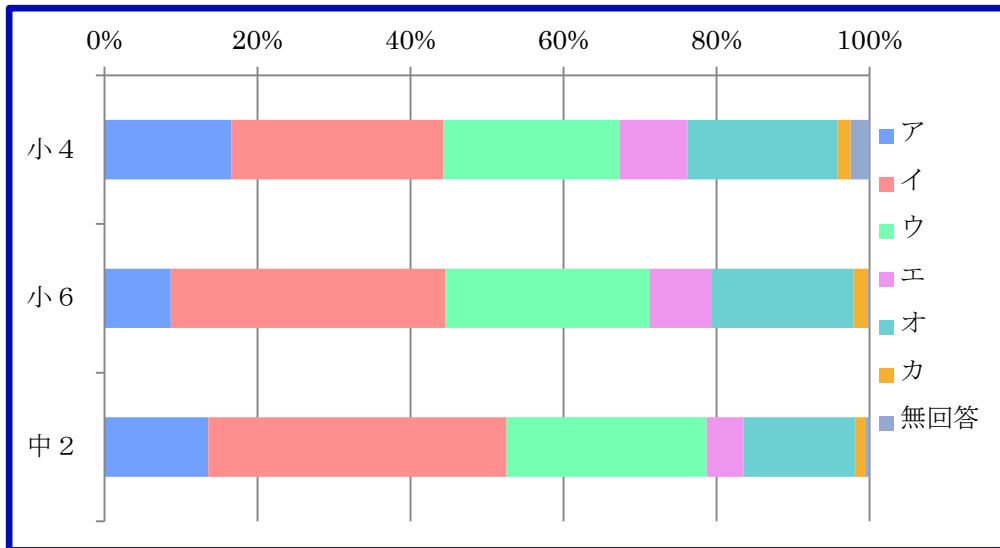
- ・料理や手芸などをしてほしいと思ったから

■考察

- ・「本を読んだり借りたりするため」と「調べものをするため」と回答した割合は小学生で7割、中学生で6割弱、学校図書館に関する回答と同様、資料を使用することを目的とする児童・生徒が多いことがうかがえる。
- ・「勉強したり教え合ったりするため」と「友だちと情報交換したり気分転換をしたりするため」は学年が上がるにしたがって増えている。
- ・小4では「その他」と回答している内容からみると、利用目的の多様化もうかがえる。

○公共図書館では、図書資料をはじめ、視聴覚資料が充実しており、貸出可能冊数も多いので、児童・生徒にとって学校図書館より利用の幅が広がると考えられる。また家族と一緒に行くことができるという利点もあり、家族とのコミュニケーションの場にもなっているのではないかと考えられる。

(5) 本に関することで良くすることは何ですか。(複数回答)



- ア 友だちと本の貸し借りをする
- イ 本屋さんに行く
- ウ テレビや映画で話題になった本を読む
- エ 国語の教科書に出てくる本を読む
- オ 友だちと本の話をしたり、おすすめの本を教えあったりする
- カ その他
- 無回答

問4(5)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	67	16.6%	37	8.6%	59	13.5%
イ	112	27.7%	153	35.7%	170	39.0%
ウ	93	23.0%	114	26.6%	114	26.1%
エ	36	8.9%	35	8.2%	21	4.8%
オ	79	19.6%	79	18.5%	64	14.7%
カ	7	1.7%	9	2.1%	6	1.4%
無回答	10	2.5%	1	0.2%	2	0.5%

<その他の回答>

【小学4年生】

- ・色々と借りて、好きな本を読む
- ・好きな歴史の人物を調べる
- ・好きな本を読む
- ・自分の調べ物の本を読む
- ・母のおすすめの本を読む
- ・お話に出てくるご飯を作って食べた
- ・たまたま読んでいておもしろそうな本を読む

【小学6年生】

- ・好きな本を読む
- ・気になる本を読む
- ・TSUTAYAに借りに行く
- ・色々な言葉を知ることができるから
- ・家にある色々な本を読む
- ・特になし (4人)

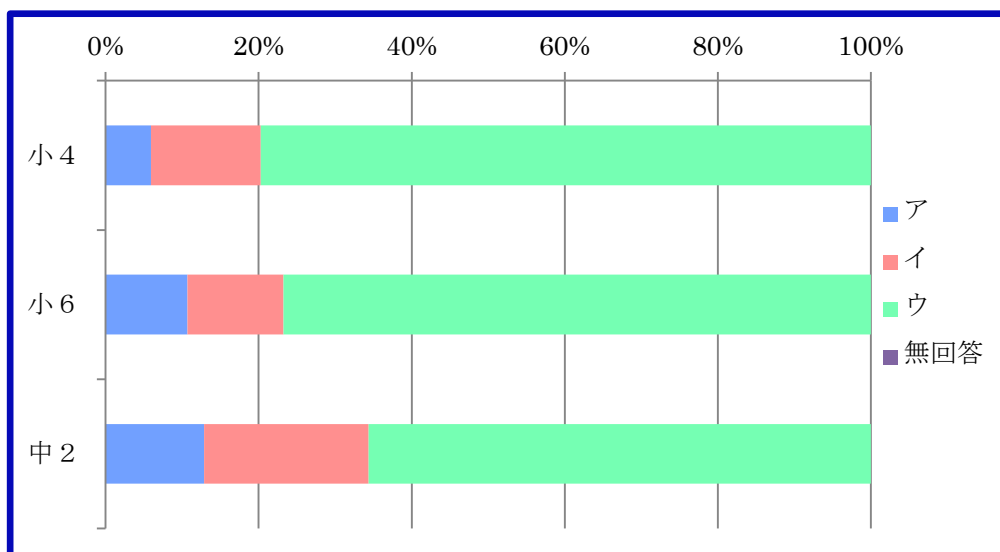
【中学2年生】

- ・スポーツ関係の本を見るため
- ・好きな芸能人が実写化する本を読む
- ・本は読まない
- ・特になし (2人)

■考察

- ・全学年を通して、「本屋さんに行く」と回答している割合が最も多く、次いで、「テレビや映画で話題になった本を読む」が多く、ともに学年が上がるにしたがって増えている。書店やメディアからの情報を多く得ていることがうかがえる。
 - ・次に多く割合を占めているのは「友だちと本の貸し借りをする」と「友だちと本の話をしたり、おすすめの本を教えあったりする」である。友達間の本の情報交換がおこなわれていることがうかがえる。
 - ・「国語の教科書に出てくる本を読む」は、全学年を通して1割に満たない。さらに学年が上がるにしたがって減っている。
- 最近では、コミックや映画の小説化、あるいは、小説の映画化等が盛んに行われ、世間的に話題となっているので、映画やコミックといったものから、児童・生徒の読書へ誘う環境ができているとは感じるが、「本の質」について考えると、より良い本と本の情報提供を行い、充実した読書を支援していくことの重要性を感じる。

問5 電子書籍を利用したことがありますか。



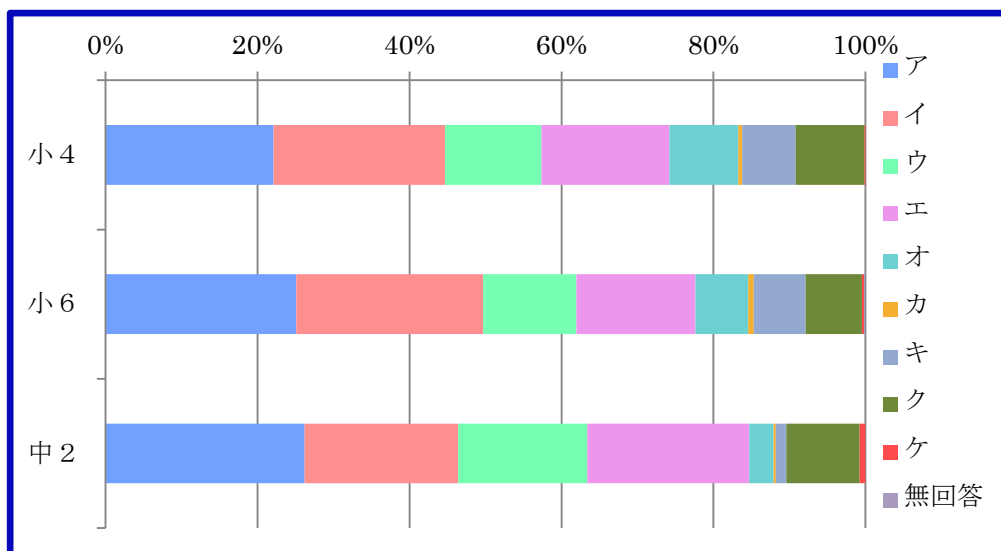
問5	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア よく利用する	17	5.9%	29	10.7%	33	12.9%
イ ときどき利用する	41	14.3%	34	12.5%	55	21.5%
ウ 利用したことがない	228	79.7%	208	76.8%	168	65.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

■考察

- ・「利用したことがある」と回答している割合は、小4、小6のどちらの学年も2割、中2が3割程度である。
- ・全体を通して、「利用したことがない」と回答している割合が6割以上を占めていて、学年が上がるにしたがって減っている。電子書籍に触れる機会は多くなってきていると考えられる。
- 今や、児童・生徒が、携帯電話やパソコンを持ち、自由に使ったり操作できたりする環境下にある中で、電子書籍は手軽な媒体として、利用が広がっていくと考えられる。
- 電子書籍と書籍の、それぞれのメリット、デメリットをしっかりと把握し、児童・生徒が、それぞれの媒体のメリットを生かした使用を心がけられるように、指導等をしていく必要がある。

問6 読書後の行動（複数回答）

この1年間で、本を読んで次のようなことをしたことがありますか。



- ア その本のシリーズや続編を読んだ
- イ 同じ種類の本を読んだ
- ウ 同じ作者の本を読んだ
- エ 読みたくなった本を図書館や本屋に探しに行った
- オ その本について感想や絵を書いた
- カ 作者や出版社に手紙を書いた
- キ 読書の記録として、本の名前や作者の名前を書いた
- ク 友だちや家の人と本について話し合った
- ケ その他
- 無回答

問6	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	173	22.1%	213	25.1%	171	26.2%
イ	177	22.6%	209	24.6%	132	20.2%
ウ	99	12.6%	104	12.2%	111	17.0%
エ	132	16.9%	133	15.7%	139	21.3%
オ	71	9.1%	59	6.9%	21	3.2%
カ	4	0.5%	6	0.7%	2	0.3%
キ	55	7.0%	58	6.8%	9	1.4%
ク	71	9.1%	63	7.4%	63	9.6%
ケ	1	0.1%	3	0.4%	5	0.8%
無回答	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%

<その他の回答>

【小学4年生】

- ・他の人の本を読んだ

【小学6年生】

- ・売る ・なにもしない ・特にない

【中学2年生】

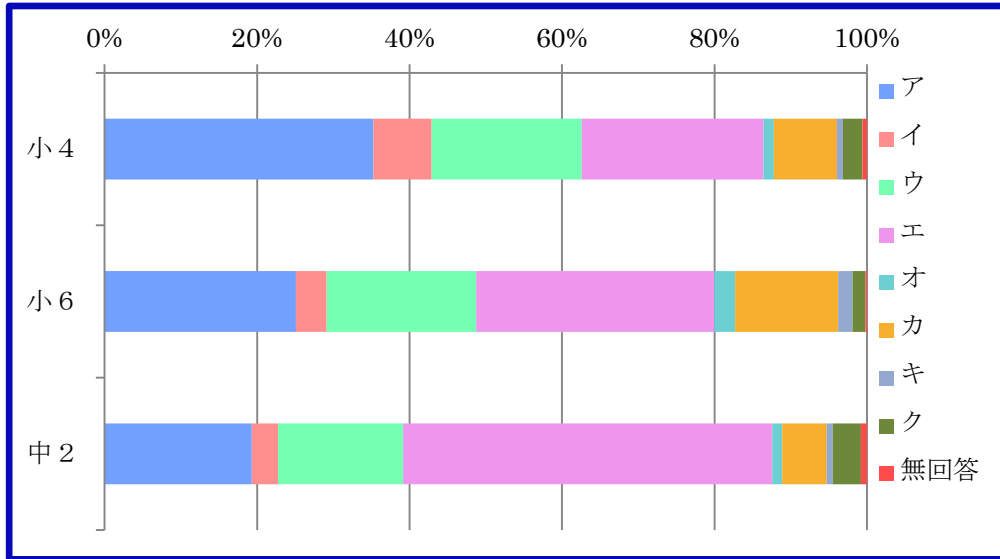
- ・少し興味がある本を見た ・特にしない（3人） ・無記入

■考察

- ・全学年を通して、すべての項目に回答があり、様々な読後の活動をしていることがうかがえる
- ・「その本のシリーズや続編を読んだ」、「同じ種類の本を読んだ」、「同じ作者の本を読んだ」と回答している割合を合わせると6割も占めている。読んだ本と関係する他の本に読書が広がっている様子がうかがえる。
- ・「読みたくなった本を図書館や本屋に探しに行った」は2割程度を占めている。次に多い「友だちや家の人と本について話し合った」は1割程度を占めている。

- 読書後の記録を残したり、友だちや家族と話したりすることで、読書がより深まることも児童・生徒に働きかけていく必要がある。

問7 読書に関連する人的環境（複数回答）
本についてよく話をするのは誰ですか。



問7	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア 父・母	179	35.2%	119	25.1%	73	19.3%
イ 祖父・祖母	39	7.7%	19	4.0%	13	3.4%
ウ 兄弟姉妹	100	19.7%	93	19.6%	62	16.4%
エ 友だち	121	23.8%	148	31.2%	183	48.4%
オ 担任(中2は国語の先生も含む)の先生	7	1.4%	13	2.7%	5	1.3%
カ 図書館の先生	42	8.3%	64	13.5%	22	5.8%
キ 公共図書館の司書	4	0.8%	9	1.9%	3	0.8%
ク その他	13	2.6%	8	1.7%	14	3.7%
無回答	3	0.6%	1	0.2%	3	0.8%

<その他の回答>

【小学4年生】

- ・いとこ (4人)・隣の家のおじさん、おばさん・習い事の先生・自分の心に・犬
- ・ぬいぐるみ・話さない (5人)

【小学6年生】

- ・だれもいない・あまり話したことがない・同じクラスの人・おばさん・本の話をしていない (4名)

【中学2年生】

- ・色々・特にいない (13人)

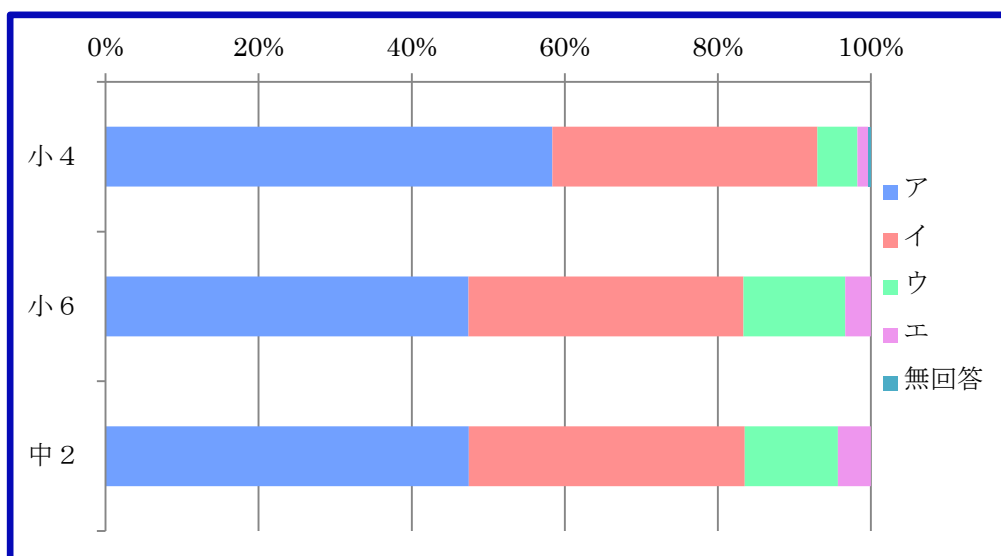
■考察

- ・「父・母」、「祖父母」、「兄弟姉妹」を家族と捉えると、家族と本の話をする回答している割合は、小4で6割、小6で5割、中2で4割と、学年が上がるにしたがって減っている。
- ・学年が上がるにしたがって父母と話すより、友だちと話す割合が増えている。

- ・担任の先生は、小4、中2で1割強、小6では3割弱である。
 - ・学校の図書館の先生や公共図書館の司書と回答する割合は少ない傾向にある。
- これらのことから、家庭においても、友だち間にしても、本を中心としたコミュニケーションが行われていることがうかがえる。
- 今後の読書活動においては家庭を巻き込んだ読書推進活動や取り組みを企画し、実践していくことが、児童・生徒をさらなる読書に誘うのに大切なのではないかと考えている。

問8 読書に対する意識

本を読むのは好きですか。



- ア 好き
- イ どちらかという好き
- ウ どちらかという嫌い
- エ 嫌い
- 無回答

問8	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	167	58.4%	128	47.4%	121	47.5%
イ	99	34.6%	97	35.9%	92	36.1%
ウ	15	5.2%	36	13.3%	31	12.2%
エ	4	1.4%	9	3.3%	11	4.3%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%

■考察

- ・全学年とも「好き・どちらかという好き」と回答している割合が多いが、小4では9割に対し、小6、中2は8割とわずかながら少ない。
 - ・「嫌い・どちらかという嫌い」と回答している割合は小4より、小6、中2が多く、学年が上がるほど、本を嫌いと答える割合が増えていく傾向がある。
- 読書離れをくい止めるためには、児童・生徒が本の楽しさに触れることができる様々な手だてを考える必要がある。
- 一人ひとりの児童・生徒の特性や興味を把握し、きめ細やかな読書指導をして、少しでも、「本が好き」という児童・生徒を増やしていく努力をしていかなければならないと感じている。

7.まとめ

この調査により、市内の小中学生の読書環境や読書状況等の実態が把握できたことは、中央市司書会として読書活動の一つとなった。

調査項目については平成25年度の検討を受け、さらに改善後の1回目で明らかとなった一部の修正箇所を訂正しての4回目の実施である。今回の調査を試みる中で見えてきた課題の解決のため、学校図書館、公共図書館だけでなく、家庭や地域とも連携の輪を広げ、日常的に本を手に取り読書していけるような読書環境づくりや、読書習慣を養っていくことが必要である。学校ごとの分析結果については学校内での読書活動推進に役立てていきたい。また学校図書館と公共図書館が連携して、地域における子ども読書推進の一翼を担いたいと考えている。

この「中央市読書調査結果」は、次回策定する「中央市子ども読書活動推進計画」に反映させる。